



2020年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年12月12日

上場会社名 株式会社石井表記 上場取引所 東
 コード番号 6336 URL <https://www.ishiihyoki.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 石井 峯夫
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長 (氏名) 渡邊 伸樹 TEL 084-960-1247
 四半期報告書提出予定日 2019年12月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年1月期第3四半期の連結業績（2019年2月1日～2019年10月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年1月期第3四半期	7,634	△12.9	335	△62.5	251	△72.5	125	△82.4
2019年1月期第3四半期	8,762	△6.0	894	△3.2	913	△5.6	709	△17.2

(注) 包括利益 2020年1月期第3四半期 0百万円 (△99.9%) 2019年1月期第3四半期 664百万円 (△22.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年1月期第3四半期	15.34	—
2019年1月期第3四半期	87.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年1月期第3四半期	11,763	2,984	25.4
2019年1月期	11,902	3,058	25.1

(参考) 自己資本 2020年1月期第3四半期 2,984百万円 2019年1月期 2,985百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る主要な経営指標等については、当該会計基準を遡って適用した後の指標等となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年1月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2020年1月期	—	0.00	—		
2020年1月期（予想）				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年1月期の連結業績予想（2019年2月1日～2020年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,186	△22.8	458	△68.5	310	△78.8	222	△78.9	27.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は（添付資料）8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年1月期3Q	8,176,452株	2019年1月期	8,176,452株
② 期末自己株式数	2020年1月期3Q	23,233株	2019年1月期	23,233株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年1月期3Q	8,153,219株	2019年1月期3Q	8,153,219株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調で推移しているものの、先行きにつきましては、米中貿易摩擦問題の長期化に伴う中国経済の減速懸念の高まり、英国のEU離脱の行方など海外情勢の不確実性に加え、消費税引き上げ後の消費者心理の動向などにより、不透明な状況が続いております。

当社グループの属する電子機器業界のIT、デジタル分野におきましては、スマートフォンやIoT対応製品などの需要を背景に市場が拡大することが期待されております。

このような環境下において、当社グループは市場動向を見極めながら積極的に営業展開を行い、顧客ニーズに 대응べく製品等の改良施策を推進してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は76億34百万円（前年同期比12.9%減）となり、営業利益は3億35百万円（前年同期比62.5%減）、経常利益は2億51百万円（前年同期比72.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億25百万円（前年同期比82.4%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(電子機器部品製造装置)

プリント基板分野では、直接営業に重点をおいた受注活動を海外子会社の活用や代理店との連携により進めておりますが、中国経済の減速懸念から設備投資の延期がみられるようになり、今後の動向に留意が必要です。当第3四半期連結累計期間においては、フレキシブル基板市場向け製造装置の売上計上もあり、前年同期と比較し売上高が増加いたしました。

液晶関連分野では、本年度は顧客の設備投資の谷間となっていることから、前年同期と比較し売上高は減少いたしました。

その結果、売上高は24億41百万円（前年同期比26.6%減）、営業利益は56百万円（前年同期比88.9%減）となりました。

(ディスプレイおよび電子部品)

アミューズメント向け部品分野の売上高は、当社得意先の生産減少の影響により、前年同期と比較して減少いたしました。

また、自動車向け印刷製品についても、当社得意先の生産が終了したことにより、前年同期と比較し売上高が減少いたしました。

工作機械および産業用機械分野については先行きの不透明感が漂う中、前年同期と比較し売上高が若干減少いたしました。

子会社であるJPN, INC.においては、ラベル印刷製品の受注が好調に推移したことなどにより売上高が前年同期を上回りました。上海賽路客電子有限公司の売上高についても新規案件の増加が貢献し、売上高が前年同期を上回りました。

その結果、売上高は51億84百万円（前年同期比4.5%減）、営業利益は2億79百万円（前年同期比27.8%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて1億39百万円減少の117億63百万円となりました。

流動資産は、64億38百万円となり前連結会計年度末と比べ1億46百万円減少いたしました。これは、たな卸資産が4億38百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が5億77百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は、53億25百万円となり前連結会計年度末と比べ6百万円増加いたしました。これは無形固定資産が1億13百万円増加しましたが、有形固定資産が1億6百万円減少したことなどによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて65百万円減少の87億78百万円となりました。

流動負債は、50億11百万円となり前連結会計年度末と比べ30億62百万円減少いたしました。これは短期借入金が5億24百万円増加しましたが、1年内返済予定の長期借入金が32億4百万円、設備関係支払手形が1億38百万円、支払手形及び買掛金が1億2百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

固定負債は、37億67百万円となり前連結会計年度末と比べ29億97百万円増加いたしました。これは長期借入金が29億4百万円増加したことなどによるものであります。

純資産は、29億84百万円となり前連結会計年度末と比べ73百万円減少いたしました。これは剰余金の配当を40百万円実施したものの親会社株主に帰属する四半期純利益を1億25百万円計上したことから利益剰余金は84百万円増加しましたが、為替換算調整勘定が1億37百万円、非支配株主持分が72百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。この結果自己資本比率は25.4%になりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年1月期の通期業績予想につきましては、2019年9月12日に開示しました連結業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,792,375	1,606,693
受取手形及び売掛金	2,815,080	2,237,986
商品及び製品	160,948	214,417
仕掛品	1,114,408	1,468,563
原材料及び貯蔵品	597,274	627,783
その他	104,639	283,025
貸倒引当金	△209	△145
流動資産合計	6,584,517	6,438,324
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,444,518	1,356,311
土地	2,194,002	2,180,402
その他(純額)	1,124,921	1,120,034
有形固定資産合計	4,763,442	4,656,748
無形固定資産		
その他	242,991	356,623
無形固定資産合計	242,991	356,623
投資その他の資産		
その他	370,148	369,902
貸倒引当金	△58,192	△58,209
投資その他の資産合計	311,956	311,693
固定資産合計	5,318,390	5,325,065
資産合計	11,902,907	11,763,390
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,768,352	1,666,092
短期借入金	1,454,640	1,979,007
1年内返済予定の長期借入金	3,604,000	400,000
未払法人税等	174,279	83,490
賞与引当金	16,190	81,421
その他	1,057,254	801,707
流動負債合計	8,074,716	5,011,719
固定負債		
長期借入金	—	2,904,000
退職給付に係る負債	491,532	505,966
その他	278,613	357,296
固定負債合計	770,146	3,767,263
負債合計	8,844,863	8,778,982

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2019年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	300,000	300,000
資本剰余金	1,068,072	1,107,799
利益剰余金	1,965,772	2,050,073
自己株式	△20,002	△20,002
株主資本合計	3,313,842	3,437,869
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,889	△2,685
為替換算調整勘定	△307,768	△445,012
退職給付に係る調整累計額	△23,054	△5,763
その他の包括利益累計額合計	△327,933	△453,462
非支配株主持分	72,135	—
純資産合計	3,058,044	2,984,407
負債純資産合計	11,902,907	11,763,390

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年2月1日 至 2018年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年10月31日)
売上高	8,762,767	7,634,845
売上原価	6,208,665	5,732,332
売上総利益	2,554,101	1,902,512
販売費及び一般管理費	1,659,314	1,566,930
営業利益	894,786	335,581
営業外収益		
受取利息	2,674	3,879
受取配当金	224	367
受取補償金	27,615	—
為替差益	3,130	16,732
債務勘定整理益	31,330	—
受取賃貸料	21,417	22,322
その他	14,182	14,053
営業外収益合計	100,576	57,356
営業外費用		
支払利息	47,503	40,515
シンジケートローン手数料	—	62,040
減価償却費	23,937	29,252
その他	10,451	9,582
営業外費用合計	81,891	141,390
経常利益	913,471	251,546
特別利益		
固定資産売却益	7,535	2,662
特別利益合計	7,535	2,662
特別損失		
固定資産売却損	3,751	598
固定資産除却損	15,236	9,038
特別損失合計	18,987	9,637
税金等調整前四半期純利益	902,019	244,571
法人税等	184,803	115,662
四半期純利益	717,216	128,909
非支配株主に帰属する四半期純利益	7,699	3,842
親会社株主に帰属する四半期純利益	709,517	125,066

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年2月1日 至 2018年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年10月31日)
四半期純利益	717,216	128,909
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,970	△5,574
為替換算調整勘定	△54,297	△139,877
退職給付に係る調整額	3,394	17,290
その他の包括利益合計	△52,873	△128,161
四半期包括利益	664,343	748
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	657,085	△461
非支配株主に係る四半期包括利益	7,257	1,209

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（追加情報）

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年2月1日 至 2018年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子機器部 品製造装置	ディスプレ イおよび電 子部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,326,097	5,427,328	8,753,425	9,341	8,762,767	—	8,762,767
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,326,097	5,427,328	8,753,425	9,341	8,762,767	—	8,762,767
セグメント利益	508,148	386,620	894,768	18	894,786	—	894,786

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメント及び付随的な収益を獲得するに過ぎない構成単位であります。

2. セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年2月1日 至 2019年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子機器部 品製造装置	ディスプレ イおよび電 子部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,441,946	5,184,523	7,626,469	8,375	7,634,845	—	7,634,845
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,441,946	5,184,523	7,626,469	8,375	7,634,845	—	7,634,845
セグメント利益	56,259	279,228	335,488	93	335,581	—	335,581

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメント及び付随的な収益を獲得するに過ぎない構成単位であります。

2. セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。